

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- ①自治振興会（区長会）→会長（1名）地域
- ②公民館（放課後子ども教室・合宿通学）  
→館長（1名）地域
- ③民生児童委員（1名）地域
- ④主任児童委員（1名）地域
- ⑤青少年育成推進委員会→会長（1名）
- ⑥子ども会育成連絡協議会→会長（1名）保護者
- ⑦教育振興会→会長・副会長（2名）保護者
- ⑧小学校→校長・教頭・教務主任（3名）学校
- ⑨幼稚園→（園長）、教頭（1名）幼稚園  
【地域5名 保護者3名 小学校・幼稚園4名】 計12名

地域コーディネーター（2名）

○吉野公民館館長（1名）

○青少年健全育成越前市民会議副会長（1名）

### (2) 協議会の内容

- ① 開催回数および日程  
第1回 6月6日(木)19:00～  
第2回 11月16日(土)(学校公開日) 9:30～  
第3回 2月25日(火)19:00～
- ② 協議内容
  - ・学校運営方針や教育活動の説明と意見交換。
  - ・家庭や地域と学校の連携の進め方についての意見交換。
  - ・学校公開日および学校行事の参観と意見交換。
  - ・学力調査の結果と本校の課題についての説明と意見交換
  - ・今年度の取り組みについての評価
  - ・次年度の取り組みについての意見交換

### (3) 協議会における成果と課題

- ・ 三世代交流行事であるわいわいスマイルフェスタに合わせて協議会を開催し、実際に児童が地域で学習したことをもとにコーナーを運営したり、保護者や老人会のコーナーで児童が交流したりしている様子を見てもらうことで、学校の教育活動を評価していただき、地域の信頼を得る場となった。
- ・ 次年度の新学習指導要領全面実施に伴う学校の改革についておおその賛同を得ることができた。同時に、心身共にたくましく、ふるさとを大切にする児童の育成について、地域の方の思いを聞かせていただいた。
- ・ 地域の学校として、児童だけでなく児童と保護者、児童と地域の方々をつなぐという役割もあることを念頭に入れ、次年度の教育活動や行事等の改革について検討しつつ進めていく。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

地域の自然・文化・産業や人とのかかわりの中で、児童が自らの地域の課題を発見したり改善したりする体験活動を行うことで、ふるさと吉野に誇りと愛着を持ち、豊かな心で、自ら学ぶ子どもを育成する。

### (2) 活動の実際

#### ①吉野の宝を見つけよう（3年生）

児童は、吉野地区には昔から大切に受け継がれてきたものがあることをパンフレットなどから知り、自分や友達の町内の宝に興味をもった。校区を余田方面、本保方面、家久方面の3グループに分け、各地元のゲストティーチャーに宝を教えてもらうこととなった。それぞれのグループが見聞きしたことを、他のグループに知らせるため、ポスターセッション形式で発表し合った。児童は、文章だけでなく、カメラで撮った映像をタブレットで映すなど



3年生ポスターセッション  
本保グループ

分かりやすく伝えようと工夫して取り組んだ。ゲストティーチャーを招いて、さらに宝について教えてもらい、宝についての認識を深めた。

この「吉野の宝を見つけよう」で調べたことを、学習発表会で家族や地域の方々の前で発表した。校区では、次々と新興住宅地でき、校区外から入ってくる人が増えている。3年生の発表は、校区の歴史や宝を分かりやすく、興味深く伝えることができ、新たに入ってきた方々に地域について知ってもらえる機会となった。



3年生学習発表会  
大井帯刀の功績紹介

## ②わいわいスマイルフェスタ（1～6年生）

およそ20年前から吉野小学校で取り組んでいる行事で、家庭・地域・学校が連携して、幼児からお年寄りまでの3世代にわたる方々が学校に集まって交流活動を行った。児童たちが考え運営するコーナー、PTAが運営するコーナー、老人会が運営するコーナー、公民館が運営するコーナー等を、児童たちや来校者が自由に体験して回った。4、6年生は担当コーナーの運営、5年生はPTAや老人会のお手伝いをしながら、様々な年代の地域の方々と交流し触れ合いながら豊かな心を育んだ。4年生は、総合的な学習で取り組んだ障害者福祉、高齢者福祉に関わる、障害者理解や対応について学ぶコーナーを設けた。6年生は、古代の生活や地域の歴史に関する様々なクイズコーナーを設けた。4、6年の児童は交代でコーナーの担当を務め、体験に来た幼児、保護者、地域の方々に、分かりやすく説明し積極的に取り組んだ。



4年生  
「見えない世界」コーナー



6年生  
「解体新書パズル」コーナー

### （3）地域コーディネーターの活動概要

- ・ 調べ学習を行う上で助言をいただいたり、ゲストティーチャーを紹介していただいたりした。
- ・ 「わいわいスマイルフェスタ」では学校と老人会、公民館との連絡調整をしていただいた。また、地区行事「ふるさとのつどい」への学校のかかわり方についてアドバイスをもらい、自治振興会との連絡調整をしていただいた。

### （4）特に工夫した事項

- ・ 調べ学習を行う上で助言をいただいたり、ゲストティーチャーを紹介していただいたりした。
- ・ 「わいわいスマイルフェスタ」では学校と老人会、公民館との連絡調整をしていただいた。また、地区行事「ふるさとのつどい」への学校のかかわり方についてアドバイスをもらい、自治振興会との連絡調整をしていただいた。

### （5）成果と課題

- ・ 相手意識を持って福井や吉野地区のよさを調べたり、情報発信したり、自分たちが考えた行動を実行したりしたことで児童の活動意欲が高まり、ふるさとへの誇りと愛着をさらに高めることができた。
- ・ 体験活動をより充実させていくために、6年間系統性をもって行えるように、学年相互の情報交換を密にし、年間学習指導計画の中に無理なく位置づけられるように工夫する必要がある。